

より近く より深く より前へ

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

1

2018 January
No.189



群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」
許諾第28・181111号

迎春

特集

新年のご挨拶

第53回

群馬県優良青年農業者表彰

JA全農ぐんま



私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき 1

JA群馬担い手サポートセンター

- JA生産販売計画の実践支援
- 営農指導機能強化支援
- 農業経営管理支援
- 法人等担い手支援
- 出向く営農支援体制の強化と活動支援
- JA担当者の人材育成支援
- JAの野菜振興取組支援
- 農産物の安全・安心対策
- 園芸作物生産実証農場の運営

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良ET卵産子の活用促進)

米麦特産課

- こんにゃく荒粉・製粉販売推進(入札の実施)
- 菌茸類種駒・種菌予約推進

園芸部

園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計下仁田ねぎ販売 (1月末日迄)
- 共計上州ねぎ販売 (2月末日迄)
- 共計春菊販売 (3月上旬迄)
- 共計土ねぎ販売 (3月中旬迄)
- 共計白ねぎ販売 (3月末日迄)

販売促進課

- 秋冬野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き販売促進

園芸資材課

- 春用出荷資材予約推進
(ほうれん草・きゅうり・ふき他)
- 低コスト段ボール
(AKライナー・ショートフラップ化)推進

- 平成30年産青果物段ボール予約推進
- 温床資材予約推進
(農ビ・トンネル資材・こんにゃくマルチ他)
- 春まき用野菜種子推進
(ほうれん草・枝豆・とうもろこし他)
- 種馬铃薯納品

生産資材部

花木流通センター

- 花木流通センターの売出し・フェア
1月27日(土) 洋蘭フェア
1月27日(土)～28日(日) いちご・柑橘フェア
- 愛菜館の売出し・フェア
1月13日(土) 午前市
1月8日(月・祝)・18日(木)・28日(日) 8の日お米フェア
1月10日・17日・24日・31日(水) 毎週水曜日 精肉全品2割引き

肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 蒟蒻肥料農薬推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- バンカーシート推進

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 仕込み味噌推進 (10月～3月)
- 蔵出ししいよかん・せとか・木熟ポンカン推進
(1月～2月)

葬祭総合課

- 会員獲得募集の推進
- 生花利用拡大運動 (周年)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

新年のご挨拶

新春のお慶びを 申し上げます



新年、あけましておめでとうございます。

JA全農ぐんまを代表いたしまして、新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より系統経済事業に対しまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

農業を取り巻く情勢に目を向けますと、TPPなど国際貿易交渉の進展や度重なる自然災害の発生、鳥獣被害など多くの課題を抱えております。

JAグループ群馬は、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の三つを基本目標として掲げ、「組合員が実感できる自己改革の実践」にJAグループ群馬一体となって全力で取り組んでおります。

群馬県は首都圏に近く、長い日照時間と標高差を活かし、多種多様な農畜産物を生産しております。平成28年の農業産出額は約2,632億円で、平成8年以来20年ぶりに2,600億円を上回りました。部門別の構成では野菜と畜産が総産出額の8割を占める農業県です。



このような中、JA全農ぐんまでは、生産資材価格の低減や低コスト生産技術の普及推進、青果物一次加工センターや園芸作物生産実証農場、育成牛センターなどの取り組みにより「組合員が実感できる自己改革の実践」を進めております。昨年10月、花木流通センターに農畜産物直売所「新鮮ぐんまみのり館」をオープンしました。県産品を豊富に取り揃え、地産地消と食育を推進し、JA加工品の認知度向上を図るなど、群馬県農業の情報発信基地として地域社会への貢献を継続してまいります。

これからも、JAや関係機関と協働し、消費者・県民が求める新鮮で安全・安心な県産農畜産物を将来に渡し、安定的に食卓へお届けするとともに、生産から販売までのトータルコスト低減を引き続き積極的に展開してまいります。

また、本年は、第41回JA群馬県大会開催の年です。JAグループ群馬の次期3カ年の方針を決定し、自己改革の取り組みを継続・加速してまいります。

本年も「生産者と消費者を安心して結ぶ架け橋」として、農家の方や地域の皆様のお役に立てる組織であり続けられるよう、努力してまいりますので、皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

全国農業協同組合連合会 群馬県本部
運営委員会会長 **大澤 憲一**

第22回「群馬のこんにゃくは日本一だんべ!」ジャンボ生玉コンテスト



11月20日(月)、群馬県蒟蒻生産協会主催の「第22回『群馬のこんにゃくは日本一だんべ!』ジャンボ生玉コンテスト」が花木流通センターにて開催されました。審査員により、重量・バランス・栽培技術等が総合的に評価された結果、最優秀賞の「横綱」には、24.95 kg を記録した三木俊夫さん(JAたのふじ)の「みやままさり」4年生が選ばれました。三木さんは3年連続での受賞となりました。なお、入賞したこんにゃく芋は、今後各種イベント等で消費拡大のために活用される予定です。

JA・県合同GAP推進会議

11月20日(月)、JA群馬担い手サポートセンターは県と合同で「GAP(農業生産工程管理)推進会議」を開催し、JAや県の担当者約90名が出席しました。会議では持続可能な農業の推進に向け、農業現場における推進方針と取組目標を確認しました。続いて「GAPを取り巻く情勢について」と「JA利根沼田におけるGAPの取り組み事例」の研修を行いました。JAグループが県と連携し、平成31年度末を目途に1JA1件以上の実践を目指し、指導員の育成をはじめ、GAPの推進に取り組みます。



平成29年度 葬祭事業戦略再構築研修会



11月22日(水)、葬祭総合課はJAセレモニーホールいせさきで「平成29年度 葬祭事業戦略再構築研修会」を開催し、10名の葬祭担当者が参加しました。研修会では、(株)マーケティング・オフィス代表取締役の小野田氏を講師に招き、葬祭業界の現状と課題、事前相談を起点とした葬儀営業サイクルの構築の事例を交えた講義が行われました。参加者からは「蓄積したデータを分析し、理論的に新たなアイデアを提案して行動していきたい」との感想があり、今後の業務に活かせる有意義な研修となりました。



講習会など盛りだくさん！～花木流通センター～

【イタリアのシェフら新鮮ぐんまみのり館視察】



◀興味を持った商品を手にする様子

群馬県は、県産農畜産物等のブランド力を高めるため、欧州での宣伝活動及び輸入拡大を促進しています。11月29日(水)、イタリアのシェフ等招聘事業に伴い、新鮮ぐんまみのり館を訪れました。イタリア人シェフらは野菜や加工品を手に取り、熱心に質問をおこない、興味を持ったゴボウのしょうゆ漬けや柿の皮を干したものを購入して帰られました。

【手作りこんにゃく講習会】 12月3日(日)



▲身を乗り出して熱心に受講していました

【麴屋せっちゃんたくあん漬け・白菜漬け講習会】 12月8日(金) 16日(土)



▲白菜4株分を容器に詰めます

渋川家畜市場子牛出荷者研修会

12月5日(火)、群馬県JA繁殖和牛部連絡協議会と当県本部共催による「渋川家畜市場子牛出荷者研修会」が開催され、生産者及びJAの担当者等が出席しました。研修会では、今年の9月に開催された「第11回全国和牛能力共進会記念シンポジウム」の基調講演とし

て群馬県畜産試験場肉牛係長の浅田氏に同共進会の報告と総括を講義していただきました。続いて群馬県畜産協会の清水氏がコーディネーターとなり共進会出品者とのパネルディスカッションが行われ、次回の同共進会に向けて有意義な研修会となりました。



▲記念シンポジウムの様子

「上州牛」銘柄確立へ向け 高品質な枝肉が競い合う

牛肉消費の最需要期となる12月、各団体の共進会が(株)群馬県食肉卸売市場を会場に開催されました。共進会は安全性と品質の高い牛肉を展示・PRすることにより、県産牛肉の知名度を高め、畜産経営の活性化を図ることを目的とします。各共進会とも優秀な枝肉が多数出品され、生産者の飼養技術の高さがうかがえました。最優秀賞を受賞した方々をご紹介します。



セリの様子

●第25回 ぐんまふれあいミートフェスタ 群馬県枝肉共進会(肉牛の部) (12月4日(月))

(主催：群馬県食肉品質向上対策協議会)

「和牛の部」加藤 剛 (太田市)
「交雑種の部」大塚 浩幸 (安中市)



▲名誉賞を受賞した加藤さん

●第56回上州牛枝肉展示会 (12月11日(月))

(主催：(株)群馬県食肉卸売市場)

「黒毛和種の部」小泉 憲一 (JA佐波伊勢崎)
「交雑種の部」白田 一義 (JA佐波伊勢崎)



▲最優秀賞を受賞した小泉さん

●第23回肉牛枝肉共進会 (12月18日(月))

(主催：群馬県JA肉牛肥育部連絡協議会)

「黒毛和種の部」(街)今井牧場 (JA北群波川)
「交雑種の部」桜井 正喜 (JA前橋市)



▲最優秀賞を受賞した今井さん

新店舗「焼肉あぐり野田宿庵」オープン!



▲「焼肉あぐり野田宿庵」外観

(株)エコープ関東は、北群馬郡吉岡町のJAファーマーズ野田宿店の敷地内に「焼肉あぐり野田宿庵」を出店し、12月13日(水)より営業を開始しました。上州和牛を始めとする群馬県産農畜産物を堪能できる焼肉店「焼肉あぐり」の県内6店舗目の出店です。同店では、JAファーマーズ野田宿店と連携し、朝採りの新鮮野菜を仕入れるほか、上州和牛の1頭買いに取り組み希少部位の提供なども行います。前橋の街並みが見渡せるお部屋や子供が喜ぶキッズルームもあり、今後幅広いお客様からのご利用が期待されます。

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

番組名/提供	放送日 ※再放送日	時間
農業へのまっすぐな思い! 青年部 / JA群馬中央会	1月8日(月)	PM9:00~9:30
	※1月14日(日)	AM8:00~8:30
上州娘トマトと新野菜アレック / JA佐波伊勢崎	1月15日(月)	PM9:00~9:30
	※1月21日(日)	AM8:00~8:30



矢田 優季アナ

第53回 群馬県優良青年農業者表彰



今年53回目を迎える「群馬県優良青年農業者」の表彰は農業の発展と後継者育成を促すため、1965(昭和40)年から県と上毛新聞社の共催で行っています。農業を取り巻く環境が厳しさを増す中、各農家は先進的な取り組みを経営に取り入れながら、環境にも配慮して増産を図っています。今回表彰される12組は、野菜、コンニャク、花き、肉用牛など各分野において創意工夫を重ね、地域農業の推進役となっています。各受賞者に農業経営への思いや今後の抱負を聞きました。



「安全・安心な小松菜を」

町田 鉄兵・祐子 ご夫妻

前橋市（施設野菜）

有機質や微量元素肥料を使用するとともに、土壌診断による適正施肥により健全な生育を図り、消費者に求められる安全・安心な小松菜の生産を心掛けています。

また、JA小松菜部会の仲間との情報交換を通じて、栽培管理の向上を図り、雇用の有効活用や経営分析により安定した農業経営を目指しています。今後は、農地利用を有効に進め、露地野菜の栽培にも積極的に取り組んでいきたいと思えます。

「良質な枝肉生産心掛け」

高野辺 洋 さん

榛東村（肉用牛）

私は就農してから交雑種の肉牛肥育に取り組んでいますが、近年は素牛価格が高止まりしているため、経営を発展させるためには今まで以上のコスト管理が必要だと感じています。

肥育牛一頭一頭の個体管理に力を注ぎ、コスト削減に取り組むとともに、飼育環境を整えることで牛の病気の発生を抑え、良質な枝肉生産をすることが重要だと思っています。

「雇用確保して周年栽培」

岩崎 幸徳・佳織 ご夫妻

伊勢崎市（施設野菜）

私は慣行にとらわれず、常に経営改善を意識し、作業の効率化、生産性の向上、経営の合理化を進め、安全、安心な農産物生産を心掛けています。現在、雇用を安定的に確保して、ハウレンソウを周年栽培していますが、夏場の栽培の安定と生産量の向上が課題です。

地域の多くの仲間と切磋琢磨^{せつさたくま}して農業を盛り上げていきたいと考えています。そして、その中核となれるよう私自身も努力していきたいと思えます。

「愛されるイチゴ農園に」

金井 繁正・実佳 ご夫妻

高崎市（施設イチゴ）

「やよいひめ」を中心に、5品種のイチゴを栽培しています。自宅の直売所を基本に、宅配便による全国発送、市内のデパート、スーパー、JA直売所など多くの販路を開拓しています。また、今季から、お客さまの注文に十分に答えられるよう、栽培面積を拡大しました。

今後は、加工品販売や観光事業（イチゴ狩り）にも力を入れ、イチゴの需要の拡大を図るとともに、誰からも愛されるイチゴ農園を築いていきたいと思っています。

「省力化と品質向上両立」

戸塚 秀樹・理奈 ご夫妻

富岡市(コンニャク)

私は妻と両親の家族労働力を中心に、コンニャク経営を行っています。私が就農してから規模拡大を図ってきましたが、最近では、単位面積あたりの収益の向上や、労力が軽減できる栽培方法を確立したいと試行錯誤しています。

さらに、機械化による省力化や効率化に取り組み、経営規模の維持とコスト削減を図りながら、品質の良いコンニャクを作り、経営安定を目指していきたいと思っています。

「耕作放棄地を有効活用」

水野 喜徳・真由美 ご夫妻

東吾妻町(コンニャク)

私は地域内にある耕作放棄地を有効に使い、規模拡大を図ることで市場価格の変動に左右されない安定的な農業経営を目指しています。また、栽培技術については、肥料設計を見直し、改善することで、単位あたり収量の増大に努めたいと考えています。

地域に根ざした農業者として、組織活動を通じて地域農業の振興に貢献していきたいと考えており、若い農業者の見本となれるような農業経営者でありたいと思っています。

「持続可能な経営目指す」

大羽賀 裕之 さん

長野原町(露地野菜)

輪作や緑肥栽培、良質堆肥の投入による地力の増進と、減農薬・減化学肥料栽培による環境保全型農業を展開しています。雇用確保が課題となっていますが、人手不足など難しい問題がある中、規模拡大とのバランスを考えながら、解決に向けて一層努力していきたいと思っています。

近年、天候不順や鳥獣被害の影響を強く受けています。栽培技術の向上や、地域との連携を強化しながら、持続可能な農業経営を目指したいと考えています。

「生産から植栽ひとりで」

星野 学・江里 ご夫妻

片品村(花き)

花の生産や販売、花壇植栽、園芸講座など、園芸に関わるさまざまな活動をひとりで行ってきました。ここ数年は、ひとりでできることの限界を感じ、一緒に活動できる仲間を増やそうと思っています。

片品村は農地面積が小さく、冬場は作物を栽培することも難しいですが、小さいから、冬場の栽培が困難だからこそできる多角的な強い農業経営を目指しています。

「時代に合った経営図る」

鈴木 繁行・美穂 ご夫妻

昭和村（露地野菜）

私たちは、農業開拓団の3代目として、先代が築いてきた技術や知識を生かしつつ、時代に合った農業経営を行っています。

今後は地域の農業者がさらに減少する中で、海外研修生の確保や、農地集積による作業効率の向上が求められます。雨よけ施設の拡大や圃場の整備を行い、安全・安心な作物を提供し続け、経営しやすい状態で次の世代へつなぎたいと考えています。また、働く姿を子供たちに見せ、農業の素晴らしさを伝えたいです。

「地元でヤマト芋をPR」

橋本 浩紀・陸美 ご夫妻

太田市（露地野菜）

県の特産品であるヤマト芋を栽培しています。地元でもヤマト芋を知らない子どもが多いため、将来を心配しています。そこで、同世代の仲間とともに小学校や地元のイベントでPR活動を行ってきました。

気候や土が栽培に適して産地となったヤマト芋なので、県内の人たちには日常的に食べてもらいたいと思います。今後も、仲間と良質なヤマト芋を作って産地を維持し、地域を盛り上げていきます。

「後継者育つ楽しい農業」

小林 真人・久美子 ご夫妻

桐生市（肉用牛）

現在の子牛相場高騰に対応するため、繁殖和牛の増頭を図りたいと考えています。加えて、遊休農地を活用した自給飼料の増産や、周辺の稲わらの収集を増やし、飼料費の削減と地域に密着した経営を行っています。

今年度は法人化することにより、雇用を確保して規模拡大と家族労働の負担軽減を図りたいです。仲間との交流、家族、地元を大切にして、後継者の育つ楽しい農業に取り組んでいます。

「鉢物をより多くの人に」

小野 博章 さん

板倉町（施設花き）

私は鉢物のシクラメンとカーネーションを生産しています。シクラメンは、ガーデン向けから七寸鉢までの5サイズを生産していますが、今後はガーデン向けと六寸鉢のみの生産とすることで効率的な生産を行うとともに、出荷先を増やして、丹精込めたシクラメンをもっと多くの消費者に手に取ってもらいたいと思います。

カーネーションは両親が担当していますが、数年後には私が切り盛りできるようにし、経営を発展させていきたいと思っています。

農業チャレンジャー

「六合の花」のやさしい色合いと可憐さに癒されてください

JAあがつま 六合支店管内 安カ川 博さん

生まれ育った六合に戻って

今回の農業チャレンジャーは、JAあがつま六合支店管内で六合の花(山野草)を生産する安カ川さんです。

香川大学農学部を卒業後、小さい頃から自然が好きで、生まれ育った六合の自然に携わる仕事がしたいという思いから、地元に戻り花を生産して7年目になるそうです。「冬はハウスで栽培をしています。ハウス内を0℃くらいで保てるように、日が当たる昼間は側面を開け温度の上昇を抑え、気温が下がる夜はストーブを使い、温度が下がりすぎないように注意しています」と話してくれました。

需要に合わせて出荷時期を調整

「クリスマスローズは、クリスマス時期に合せて出荷できるように、6月後半から7月初めに冷蔵庫に入れて、3か月間冬の休眠をさせています。これにより通常では2・3月頃に咲くクリスマスローズを、11月から12月に咲かせることができます。また、オランダセダムは1日の日照時間が短くなると咲くという性質を利用し、日没後もLEDライトをあて、開花時期を順次遅らせ、長い期間出荷できるように調節しています」と花の性質を利

用し需要に合わせた生産をしていることを教えてくださいました。

産地情報をFacebookで発信

所属する花卉生産部会六合支部では、安カ川さんを含めた若手花卉農家5人で、六合の花の出荷前の写真をFacebookで紹介し、産地の情報を発信しています。また、市場視察や花屋さんを招いた産地見学会を行い、六合の花のPR活動にも積極的に取り組んでいます。安カ川さんに六合の花の魅力をお聞きしたところ、「メインの花ではなく脇花として引き立て役になることが多いですが、そこが主張しすぎず、やさしい色合いと可憐さに癒されます」と話してくれました。また、今年の11月にはご結婚され、「今後は出荷が減ってしまう4月から5月に咲く山野草を導入し、さらに経営面での無駄な部分をなくし、今まで以上に責任をもって農業経営に取り組んでいきたい」と熱く語ってくれました。

六合の花の成長を楽しみながら丁寧に栽培し、安定した農業経営に取り組む安カ川さんに、今後さらなる活躍が期待されます。



Profile

安カ川 博(やすかがわ・ひろし)さん

1987年生まれ 30歳

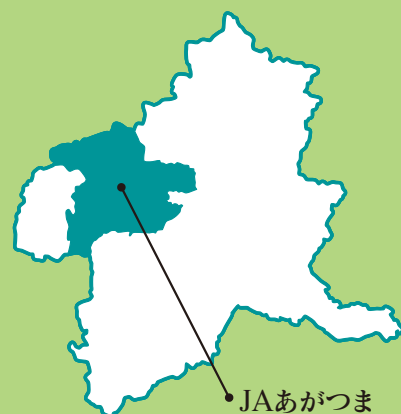
JAあがつま花卉生産部会六合支部

栽培面積..... 山野草:70a
(オランダセダム・アルケミラ・クリスマスローズ・スキミアなど)

好きな花..... スキミア

趣味..... 読書

好きな本..... 「坂の上の雲」司馬遼太郎





1「この種類のクリスマスローズは見たことがないです」と話すと丁寧に説明してくれました

2 JAあがつま担当者やさしい色合いのクリスマスローズを持って

3 安力川さんが好きな花「スキミア」。蕾の状態で出荷し、消費者のもとで可憐な花を咲かせます

4 冷蔵庫で休眠中の山野草



「お客様に ご提案できるように、 常に情報収集」

Profile

高田 龍 (36歳)

たかだ・りょう

趣味

スキー・ゴルフ

好きな食べ物

刺身

●職場の皆さんからみた高田さん

「これからのJAグリーンを担う存在ですので、責任を持って頑張ってください」



▲直売所前で旬の白菜を持って

がんばって
まーす!

JAたのふじ 営農経済部 グリーン課
たかだ りょう
高田 龍さん

——入組して何年目ですか？

アルバイト期間から通算して3年目です。2年のアルバイトを経て、今年正職員になりました。農業関連の仕事をしていたこともありますが、一旦離れてみて、改めて野菜の販売関係の仕事がしたいと思い、JAに転職しました。

——実際に働いてみていかがですか？

JAグリーン藤岡の店舗で、農業資材の販売と直売所の両方に携われて充実しています。この店舗には組合員の方だけではなく、趣味で野菜を作っている方もいらっしゃるの、肥料や農薬の使い方、種や野菜苗の提案やアドバイスをして、いろいろな方と話ができ勉強になります。

——心掛けていることはありますか？

お客様の話をよく聞くことです。聞きたいポイントをうまく汲み取ってあげられるように、よく話を聞いて答え

るようにしています。そのために常に色々な情報を見聞きし、特に農業のプラ口である組合員さんに話を聞くことが勉強になります。

——やりがいを感じる時は？

日頃収集している情報を活かして、お客様に提案し喜んでもらえたときには、やりがいを感じます。また、お客様にいろいろな質問されることもうれしいです。分からないことを聞かれても調べるきっかけになり知識の幅が広がります。

——休日はどのように過ごしていますか？

組合員の方と一緒にゴルフに行ったり、休日前夜にお酒を飲みに行ったりしています。冬場は家族でスキーに行くこともあります。

——ご家族のみなさんもスキーをされるのですか？

両親もスキーをします。私は一人っ子ですが、両親と3人で小さい頃から冬の恒例行事のようにスキーに行っています。最近では湯沢や高倉高原で滑り、温泉に浸かって体を回復させています。

——今後の意気込みを教えてください。

できるだけ店頭に立ってお客様と話し、需要がある野菜や収量上がる資材を紹介し、「どうやって食べたらおいしいの？」などの質問にも的確に応えられるような知識を身に付け、組合員の収入に繋がりたいです。農業生産の向上を図り、若い方たちが農業に興味を持って参入してもらえるように頑張っていきたいと思います。

——高田さん、これからも地域と農業を盛り上げてください。ありがとうございました！

畜産ダイジェスト

肉牛情勢

肉牛実績（瑕疵抜き税込）（単位：円）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	
上場頭数 (単位:頭)	平成28年	1,109.0	778.0	745.0	903.0	791.0	973.5	866.5	1,114.0	1,271.5	808.0	670.0	801.0	10,029.5	880.9	
	平成29年	1,051.5	754.0	836.5	800.5	700.0	878.5	839.5	1,161.5					7,022.0	877.8	
黒毛和種 (去)	A5	平成28年	2,937	2,958	2,886	2,896	2,843	2,772	2,836	2,938	3,055	2,906	2,823	2,809		2,904
		平成29年	2,882	2,869	2,867	2,828	2,909	2,783	2,860	2,859						2,854
	A4	平成28年	2,734	2,733	2,653	2,631	2,587	2,553	2,608	2,675	2,645	2,583	2,568	2,491		2,634
		平成29年	2,632	2,559	2,469	2,511	2,492	2,371	2,422	2,501						2,504
	A3	平成28年	2,514	2,525	2,393	2,356	2,371	2,322	2,372	2,411	2,261	2,304	2,214	2,119		2,362
		平成29年	2,279	2,263	2,129	2,125	2,034	2,039	1,982	2,133						2,126
	A2	平成28年	2,332	2,304	2,184	2,154		2,002	2,138	2,047	1,955	2,053	1,791	1,947		2,088
		平成29年	2,002	1,733	1,750	1,823	1,754	1,690	1,744	1,791						1,766
交雑種 (去)	B5	平成28年	2,126		2,052						2,174			2,100		2,124
		平成29年	1,966			1,943		1,939		2,077						2,020
	B4	平成28年	1,902	1,892	1,844	1,914	1,916	1,920	1,938	1,942	2,015	1,867	1,836	1,819		1,910
		平成29年	1,760	1,793	1,798	1,813	1,871	1,779	1,824	1,794						1,797
	B3	平成28年	1,742	1,719	1,710	1,755	1,754	1,742	1,760	1,754	1,760	1,710	1,676	1,637		1,739
		平成29年	1,615	1,589	1,591	1,623	1,663	1,544	1,595	1,580						1,600
	B2	平成28年	1,602	1,588	1,557	1,582	1,584	1,607	1,583	1,549	1,509	1,504	1,398	1,389		1,556
		平成29年	1,318	1,246	1,237	1,308	1,406	1,247	1,216	1,275						1,281

12月 渋川家畜市場市況

（株）群馬県食肉卸売市場 肉牛課

区分	性	出場頭数	成立頭数	高値価格	安値価格	平均価格	平均体重	平均日令	平均単価
子牛	雌	116	112	972,000	430,920	669,079	286	290	2,336
	雄								
	去	162	159	1,266,840	517,320	805,761	319	283	2,521
	計	278	271	1,266,840	430,920	749,272	305	286	2,450
成牛	雌	10	10	1,035,720	507,600	715,824	478	2,721	1,496
	雄								
	去								
	計	10	10	1,035,720	507,600	715,824	478	2,721	1,496
若齢	雌	2	2	665,280	486,000	575,640	152	144	3,774
	雄	4	3	857,520	504,360	652,680	151	117	4,322
	去								
	計	6	5	857,520	486,000	621,864	151	128	4,102
合計		294	286	1,266,840	430,920	745,875	309	368	2,412

養豚情勢

肉豚実績（税込）（単位：円）

月			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
総と畜合計 (単位:頭)	平成28年		40,481	35,948	37,630	35,502	37,818	39,656	40,977	43,339	43,106	41,406	37,917	42,446	476,226	39,435
	平成29年		38,054	39,999	39,189	34,496	39,588	39,278	42,642	44,124					317,370	39,671
群馬県	極上	平成28年	495	565	609	558	501	521	484	514	519	499	549	520		527
		平成29年	505	532	602	607	612	594	542	549						568
	上	平成28年	492	560	603	557	499	526	483	508	518	501	515	507		522
		平成29年	504	546	604	620	613	601	537	555						573
	中	平成28年	477	552	601	545	488	512	469	496	506	483	502	492		510
		平成29年	492	535	603	624	600	585	526	547						564
	並	平成28年	437	520	556	504	465	466	431	450	463	436	460	446		470
		平成29年	447	496	561	594	556	544	494	508						525
	等外	平成28年	339	377	392	388	362	361	346	339	335	315	306	299		351
		平成29年	291	297	350	400	370	355	323	331						340
	全体	平成28年	467	534	577	532	480	501	460	482	494	471	489	482		497
		平成29年	477	515	579	600	583	571	512	529						546

月平均は（総売上÷総重量）（株）群馬県食肉卸売市場 肉豚課

JA嫗恋村



▲ Aコープ特売品

その他、大人気の綿菓子・焼き肉・ポップコーン・つきたてお餅の無料配布、女性部の手作り揚げたてキャベツコロケは大好評でした。

メインステージでは、迫力あるバチさばきの太鼓、艶やかな民舞、優雅な踊り、歌謡ショー、嫗恋少年少女合唱団、嫗恋中学校吹奏楽部の演奏等が披露され、出荷組合対抗輪投げ大会でまつりは締めくくられました。

今年も地域の皆様に大勢ご来場いただき大盛況のうちにまつりを終了することができました。

JA嫗恋村「農業まつり」

JA嫗恋村では10月28日(土)、吾妻郡嫗恋村大笹にあるJA特産センターで農業まつりを開きました。組合員はじめ、地域皆様へ日頃のJAへのご協力に感謝の意を込めて、当日は数々のイベントや盛りだくさんの特売品が用意され、大勢の家族連れで賑わいました。

Aコープの特売品は毎回大盛況で、朝早くから長蛇の列ができ、あっという間に完売し、各コーナーでも焼きそば・もつ煮・焼きまんじゅう・嫗恋産そば



▲ 組合長挨拶

JAたかさき



▲ 盛り上がった「開脚ボール送り」

最後に「上州よいとこ」や「炭坑節」の曲に合わせ女性会・事務局全員で輪になって踊り、運動会を締めくくり、健康促進とスポーツの秋を満喫した一日となりました。

スポーツの秋を満喫 女性会運動会

JAたかさき女性会は、11月8日、高崎市浜川体育館で女性会運動会を開催。11支部266人が5チームに分かれ熱戦を繰り広げました。優勝はあかチーム(中川支部)、準優勝にきいろチーム(新高尾・京ヶ島支部)が輝きました。

運動会は、女性の健康管理活動の一環として、また、スポーツの交流を通じて女性会の組織強化を図るため毎年開催しています。競技は、開脚ボール送りや仮装リレーをはじめ、スマイルボウリングなど10種目。バランス感覚やチームワークを競いました。最終競技の玉入れでは、僅差の熱戦が繰り広げられ、かごから出した玉を数えるたびに歓声と拍手があがりました。

JAはぐくみ



ジャンボ梨の大きさに驚く親子

圧巻！2kg超の梨ずらり 清水さんが知事賞 ジャンボ梨コンテスト

JAはぐくみはるな梨研究会は11月22日、晩成梨の重さを競う「第28回ジャンボ梨コンテスト」を高崎市役所で開きました。同市榛名地域から147点が出品され、「あたご」の部でジャンボ賞・県知事賞に清水茂樹さん(2801g)、「新雪」の部でジャンボ賞・高崎市長賞に倉橋英雄さん(2775g)が選ばれました。

ジャンボ梨は、晩生で大玉に育つ「王秋」「あたご」「新雪」の総称。11月に収穫し、年末年始や、品種によっては3月ごろまで長期保存できます。

最大の特徴は、子どもの頭ほどもある大きさ。通常の梨が1個300gほどなのに対し、ジャンボ梨は大きいもので2kg以上。冬の到来とともに食べ頃を迎えることから「冬将軍伝説」と銘打ちPRしています。

研究会の山木久利会長は「8、10月の長雨で平年以上に大玉の梨ができた。水分が多く、果肉がやわらかくておいしい。多くの人に味わってもらいたい」と話しました。

JA利根沼田



▲1袋ずつ丁寧に検査されました

和菓子の原材料 29年度産の白小豆出荷

12月11日、沼田市横塚町の沼田青果物集荷場で今年産の白小豆の出荷が始まり、169袋(4,642kg)が持ち込まれました。

集荷された白小豆は検査員が一袋ずつ形状や色などで特等、1等、2等、3等、規格外まで検査すると、JAと契約を結んでいる老舗和菓子店の「とらや」に全量出荷されて生菓子や羊羹、最中の白餡に使用されます。

虎屋群馬農場の根岸幸弘担当は「今年は日照不足などの天候不順により収量が減ってしまったが、生産者の方が手間をかけて良品を出荷していただけた」と安心した様子で話しました。

「とらや」独自の品種である白小豆は昭和2年から契約栽培を始め、現在ではJA管内で63人の生産者が約20ヘクタールで栽培しています。

花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！



花木流通センターでは、毎年大好評の「洋ランフェア」を今年も開催いたします。

普段は気軽に買うことのできない胡蝶蘭や、シンビジウムなど多くの洋ランが大特価で販売されます。

形・色・香りなど、種類によって様々な顔を見せる洋ラン。お気に入りを見つけて大事に育ててみてはいかがでしょうか。うまく育てると何年も素晴らしいお花を楽しむことができます。ぜひ挑戦していただきたいと思います。

皆様のご来店心よりお待ちしております。

1月の売出し・イベント案内

色々な売出しやイベントが目白押し。ぜひお出かけください！

開催日	内 容
1月27日(土)	洋ランフェア
1月27日(土) ～28日(日)	いちご・柑橘フェア



※7月より火曜日定休となります。

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

暮らしをもっと やかに

KABOKU
花木流通センター

営業時間：年中無休/9:00～18:00

取扱商品

(節電のため7月～2月毎週火曜日定休)

- 園芸資材館/営農・園芸資材等
- ふらわーらんど/鉢花、花苗等
- JA植木コーナー/緑花木、盆栽等
- エクステージ/外構・造園工事等
- 新鮮ぐんまのり館/産直野菜、農産加工品、手作りパン・ハム等
- 外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先

前橋市亀里町1307-1

TEL:027-220-2427

FAX:027-220-2424

おさいわいば
JA直販

愛菜館

営業時間：毎週火曜日定休/9:00～18:00

取扱商品

- 産直野菜
- 農産加工品/店頭精米等



お問い合わせ先

前橋市古市町106-1

TEL:027-210-7788

FAX:027-210-9811

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意いただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147群馬県前橋市亀里町1310番

JA全農ぐんま「県本部通信」係まで

E-mail : info-gunma@gm.zennoh.or.jp

※JAメール等でも結構です。

プレートをキャンバスに見立てて
Art Cooking



Food adviser

石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



アスパラガスと カジキマグロのゆば巻き

材 料

2人分

(1人分299kcal)

アスパラガス … 1束	レモンライス
板ゆば …… 2枚	…………… 2枚
カジキマグロ …… 60g	パプリカパウダー
アボカド …… 1個	…………… 少々

ソース

A	オリーブオイル	醤油 …… 小さじ1.5
	…大さじ1.5	練りわさび
	レモン汁	… 小さじ1 弱
	…大さじ1.5	

作り方

- 1 アスパラガスはがくをとり固めに塩茹でし、縦に半分、長さ15cmに切る。
- 2 板ゆばはバットにのせて熱湯をかけ、1分位戻しペーパーで水気をきる。
- 3 カジキマグロは1cm角で長さ15cmに切る。
- 4 アボカドは皮と種をとり縦に薄く切る。レモンは銀杏切りにする。
- 5 ボールにソースの調味料を入れ、よく混ぜ合わせる。
- 6 カジキマグロを芯にして、まわりにアスパラをおき、ゆばの端にのせて、しっかり巻き、長さ2cmに切る。
- 7 器に4のアボカドを並べ、6のゆば巻きをのせて、レモンライス进行飾る。パプリカパウダーをふりかけ、食べる寸前にソースをかける。